『日本赤十字社』各種講習会および防災セミナーのご案内

東日本大震災等過去の災害の教訓を踏まえ、近い将来に発生の切迫性が問題視されている南海トラフ地震、首都直下地震等の大規模災害から、人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要となっています。

赤十字防災セミナーは、あなたのまちで災害が発生したときに予想される被害、避難生活などの課題を具体的にイメージしながら、いのちを守るさまざまな方法を地域に密着した形で学ぶことができます。

肝付町社会福祉協議会では、日本赤十字社鹿児島県支部と連携し、身近な人を救うため、とっさの手当てや日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を行います。

『赤十字防災セミナー』とは

日本赤十字社は、東日本大震災等過去の災害の教訓を踏まえ、将来、発生が予測されている南海トラフ地震など、いつ起こるか分からない災害からいのちを守るためには、ご自身とご家族を守る「自助」の力と地域にお住いの皆さんが協力して難局を乗り越える「共助」の力が極めて重要だと考えています。

赤十字防災セミナーを通じて、皆さん一人ひとりが災害と向き合い、被害をより小さくするために必要な備えについて、一緒に考えましょう。

赤十字防災セミナーの目的

①「赤十字について・災害への備え」（講義形式）

防災や減災の考え、地震・津波・風水害がもたらす様々な被害から、平時の備えの重要性を理解する。

②「災害エスノグラフィー」（グループワーク含む）

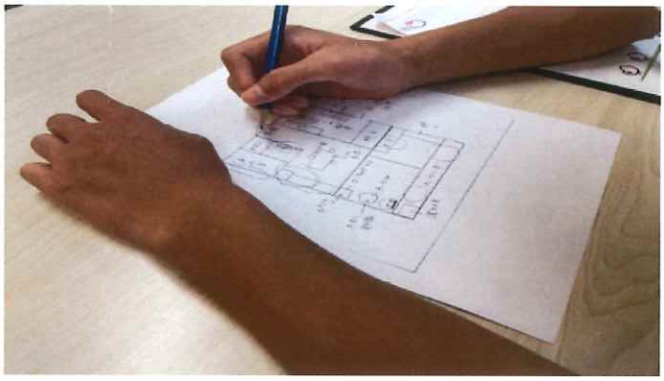
被災した人々の視点で書き留められた読み物から被害を追体験し、被災状況をイメージする。

③「災害図上訓練（DIG）」（グループワーク含む）

地域の防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険性を把握し、個人や地域の防災意識を高める。

④「家具安全対策ゲーム（KAG)」（個人ワークを含む）

家具安全対策ゲーム（KAG)には、対象者別に２つのカリキュラムがあります。

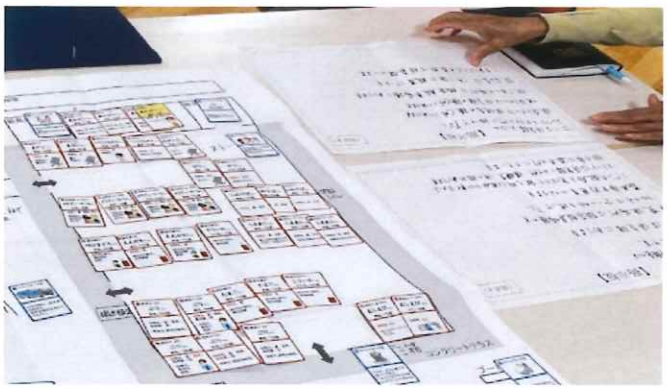


●家具安全対策ゲーム（KAG）

自宅（部屋）の平面図を描くゲーム通じて、地震で起こる被害や家具の安全対策の必要性を把握・理解し、身の安全を守る方法について行うべきことを検討する。

●おうちのキケン（小学５・６年生普及モデル）
ワークシートや動画を使用して、大きな地震が起きたときの「おうちの中のキケン」を見つけることで、自分とおうちの人の大切ないのちを守るための家具の安全対策について考える機会を提供する。

⑤ひなんじょ　たいけん



用意されるのは、避難所に見立てた平面図と、世帯ごとに避難者の年齢や健康状態、被災状況が書かれたカード。5～7 人のグループになって、避難者に見立てたカードを引きながら考えていきます。「病気の家族がいる場合」「避難所のトイレが使えなくなった」など、さまざまな出来事、課題にどう対応していくか、意見交換しながら気づきを深めることで「避難者」を疑似体験できるカリキュラムです。

⑥その他

その他にも、「応急手当等」（救急法短期講習との組み合わせ）や炊き出し訓練等があります。

詳細につきましては、肝付町社会福祉協議会 事務局までお問い合わせください。

講習会一覧

○救急法

日常生活における事故防止や手当ての基本、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を習得できます。

○水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を習得できます。

○幼児安全法

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術を習得できます。

○健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を健やかに生きるために必要な健康増進、介護予防の知識や自立した生活が続けられるような生活の仕方や工夫を学びます。

○赤十字防災セミナー

日本赤十字社では、過去の災害の教訓を踏まえ、人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育を行い、防災・減災に関する知識・意識・技術の普及向上を図ります。

○各種講習イベント

地域のみなさまが健康的に毎日の生活をおくっていただくために、様々な講習イベントを開催しております。気軽にご参加いただけるイベントとなっておりますので、お友達やご近所さまなどお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

※ 現在実施をしていない講習もあります。

【講習時間】　救急法、健康生活支援講習、幼児安全法：６０分以上

水上安全法：９０分以上

【費用負担】　令和７年４月１日以降（４時間未満）指導員一人当たり 5,000 円

（４時間以上）指導員一人当たり 8,000 円

※ ただし、振興会主催、青少年赤十字加盟校、受講対象によっては費用免除となります。

詳細については、お問い合わせください。

【赤十字ホームページ】　https://www.jrc.or.jp/chapter/kagoshima/study/

【その他】※ 申込書の記入については、肝付町分区（肝付町社協）でもお申込みできます。

お気軽にお尋ねください。

対象・会場・内容について

対象	振興会（自治会）、地区公民館、学校、ＰＴＡなど
会場	地域のコミュニティーセンター、公民館、学校体育館など
内容	「赤十字について・災害への備え」（90分）
	「災害エスノグラフィー」（120分）
	「災害図上訓練（DIG）」（120分）
	「ひなんじょたいけん」（90分）
	「家具安全対策ゲーム（KAG）」（30分）
	「その他」（60分） から必要なものを選択・組み合わせることが可能です。
受講料	無料

年　　月　　日

日本赤十字社鹿児島県支部長　様

（主催者）
住所（〒　　－　　）

団体名

代表者名　　印

赤十字講習会指導員派遣申込書

別添「赤十字講習会指導員派遣申込み留意事項」内容確認・同意の上、下記のとおり申し込みます。

開催日時	自　年　月　日（　）		時　分		分間・日間
	至　年　月　日（　）		時　分		
開催場所	会場名				
	所在地				
	TEL	（　　）　　－			
開催目的					
受講者数	男性　名	女性　名	合計　名	※乳幼児　名を除く	
対象者			対象者別内訳		
担当者	氏名		フリガナ		
	住所	（〒　　－　　）			
	TEL	（　　）　　－	FAX	（　　）　　－	
講習内容	希望事項□欄にレ点を記入ください。				

□ 救急法
　□救急員養成講習　□基礎講習　□短期講習(90分以上)
　※短期講習に関しては下記より希望の講習内容を選択下さい。(複数可)
　　□心肺蘇生・AED　□止血　□きずの手当(三角巾)　□固定　□搬送　□その他(　　)

□ 水上安全法
　□救助員Ⅰ養成講習　□救助員Ⅱ養成講習　□短期講習(90分以上)
　※短期講習に関しては下記より希望の講習内容を選択下さい。(複数可)
　　□水の事故防止　□泳ぎの基本と自己保全　□溺者の救助法　□その他(　　)

□ 健康生活支援講習
　□支援員養成講習　□短期講習(90分以上)　□災害時高齢者生活支援講習
　※短期講習に関しては下記より希望の講習内容を選択下さい。(複数可)
　　□高齢者の健康・安全　□地域の支援活動の心がまえ　□介護技術(車椅子の使い方,体の動かし方,着替え方等)

□ 幼児安全法
　□支援員養成講習　□短期講習(90分以上)
　※短期講習に関しては下記より希望の講習内容を選択下さい。(複数可)
　　□起こりやすい事故の予防と手当　□病気と看病　□心肺蘇生・AED　□その他(　　)

□ 赤十字防災啓発プログラム　**講習時間:90分以上 ※希望内容によっては2時間必要となります。**
　下記より短期講習の希望内容を選択ください。(複数可)
　　□防災講話　□体験プログラム(身近な物を使用した応急手当, 搬送等)　□その他(　　)

注意：養成講習・基礎講習及び災害時高齢者生活支援講習は教材費が必要です。

【事務局記入欄】　**申込者は記入不要です。**　　*【第4版】*

幼児短期(託児の有無)　有・無	会場でのﾏｯﾄ等の要否　ﾏｯﾄ・ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ・不要		借用資材　□ﾏｲｸ　□DVD視聴資材　□ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ	
ｸﾞﾙｰﾌﾟ分け　名 × ｸﾞﾙｰﾌﾟ		JRC加盟状況　□加盟　□未加盟		地区・分区経由　□有　□無
講習開催経費(指導員派遣費用)		計　円		□免除団体(　　)
	支払種別　□振込　□現金	請求書　□要　□不要	領収書　□要　□不要	
教材費		計　円		
	支払種別　□振込　□現金	請求書　□要　□不要	領収書　□要　□不要	

注意！必ず開催日時について事前に電話にて調整を行ってください。

※1：短期講習の場合は時間(分)をご記入ください。(終了時間は17時30分までです。)
※2：本講習開催目的を具体的にご記入ください。
例）職場での研修、ﾌﾟｰﾙ開きに伴う研修、
ｷｬﾝﾌﾟ開催に係るｽﾀｯﾌ事前研修等開催目的を
ご記入ください。
※3：受講人数は申し込み時の概算で構いませんが、
人数に変動が生じた際は、必ずご連絡ください。
※4：幼児安全法短期講習等で乳幼児が同席する際は
その人数をご記入ください。
※5：保護者及び児童が受講する場合等、講習展開上、
配慮が必要な場合はその内訳をご記入ください。

平成21 年 5月 1日
↑申込日をご記入ください

(主催者)
住所 (〒 890 － 0064)
鹿児島市鴨池新町○番×号
団 体 名 日赤看護専門学校
代表者名 日赤太郎 印

赤十字講習会指導員派遣申込書 記入例

押印ください↑

別添「赤十字講習会指導員派遣申込み留意事項」内容確認・同意の上、下記のとおり申し込みます。

開催日時	自 平成21 年 8 月 3 日 (月)	9 時 00 分	※1	4	分間 日間
	至 平成21 年 8 月 6 日 (木)	16 時 00 分			
開催場所	会場名	日赤看護専門学校 実技：多目的ホール 学科：A棟101講義室			
	所在地	主催者住所と同じ			
	TEL	(099) 000 － 0000			
開催目的	研修の一環として ※2				
※3 受講者数	男性 5 名	女性 25 名	合計 30 名	※乳幼児 ※4 名を除く	
対象者	日赤看護専門学校○×科 1年生		対象者別内訳 ※5		
担当者	氏名	総務課 日赤次郎	フリガナ	ﾆｯｾｷ ｼﾞﾛｳ	
	住所	(〒 －) 同上			
	TEL	( ) 同上 －	FAX	(099) 111 － 1111	
講習内容	希望事項□欄にレ点を記入ください。				

☑ 救急法 ※短期講習は開催時間の関係でご希望の講習内容にに添えない場合がございます。その際はご了承ください。
☑救急員養成講習 □基礎講習 □短期講習(90分以上)
短期講習目安：90分(心肺蘇生及びAEDについては紹介程度)
120分(心肺蘇生及びAEDの実技)
□心肺蘇生・AED □止血 □きずの手当(三角巾) □固定 □搬送 □その他( )

□ 水上安全法 ※水上安全法短期講習については原則、プールでの実施をお願いします。
□救助員Ⅰ養成講習 □救助員Ⅱ養成講習 □短期講習(90分以上)
※短期講習に関しては下記より希望の講習内容を選択下さい。(複数可)
□水の事故防止 □泳ぎの基本と自己保全 □溺者の救助法 □その他( )

□ 健康生活支援講習
□支援員養成講習 □短期講習(90分以上) □災害時高齢者生活支援講習
※短期講習に関しては下記より希望の講習内容を選択下さい。(複数可)
□高齢者の健康・安全 □地域の支援活動の心がまえ □介護技術(車椅子の使い方,体の動かし方,着替え方等)

□ 幼児安全法 ※短期講習「その他」欄には講習内容に加えて欲しい事項があれば、ご記入ください。例）気道異物除去、熱中症
□支援員養成講習 □短期講習(90分以上)
※短期講習に関しては下記より希望の講習内容を選択下さい。(複数可)
□起こりやすい事故の予防と手当 □病気と看病 □心肺蘇生・AED □その他( )

□ 赤十字防災啓発プログラム 講習時間:90分以上 ※希望内容によっては2時間必要となります。
下記より短期講習の希望内容を選択ください。(複数可)
□防災講話 □体験プログラム(身近な物を使用した応急手当, 搬送等) □その他( )

注意：養成講習・基礎講習及び災害時高齢者生活支援講習は教材費が必要です。

【事務局記入欄】 **申込者は記入不要です。** ↓記入不要です。 【第4版】

幼児短期(託児の有無) 有・無	会場でのﾏｯﾄ等の要否 ﾏｯﾄ・ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ・不要		借用資材 □ﾏｲｸ □DVD視聴資材 □ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ	
グループ分け 名 × ｸﾞﾙｰﾌﾟ		JRC加盟状況 □加盟 □未加盟	地区・分区経由 □有 □無	
講習開催経費 (指導員派遣費用)		計 円	□免除団体( )	
	支払種別 □振込 □現金	請求書 □要 □不要	領収書 □要 □不要	
教材費		計 円		
	支払種別 □振込 □現金	請求書 □要 □不要	領収書 □要 □不要	